

議員提出議案第27号

ハッ場ダム建設事業の早期完成を求める意見書

上記の議案を提出する。

平成23年12月15日

提出者

1 番	むらまつ 勝康	2 番	池田 ひさよし
4 番	平田 みつよし	5 番	秋 本 とよえ
6 番	筒 井 孝 尚	7 番	秋 家 聡 明
8 番	小 山 たつや	9 番	く ぼ 洋 子
1 3 番	出 口 よしゆき	1 4 番	黒柳 じょうじ
1 5 番	上 原 ゆみえ	1 6 番	安 西 俊 一
1 7 番	新 村 秀 男	2 0 番	大 高 た く
2 1 番	清 水 忠	2 2 番	工 藤 きくじ
2 5 番	梅 沢 五十六	2 6 番	小 用 進
2 7 番	舟 坂 ちかお	2 8 番	ふ せ 秀 明
2 9 番	上 村 やす子	3 0 番	向 江 すみえ
3 3 番	斉 藤 初 夫	3 4 番	牛 山 正
3 5 番	荒 井 彰 一	3 6 番	丸 山 銀 一
3 7 番	倉 沢 よう次		

葛飾区議会議長 梅 沢 五十六 殿

ハッ場ダム建設事業の早期完成を求める意見書

ハッ場ダム建設事業は、治水機能に加え、都市用水の供給等、利水機能を確保する観点から事業化され、事業主体である国及び関係地方公共団体による長年にわたる合意形成のもとに進められてきた。

平成21年9月、前原元国土交通大臣が就任早々突然に、同ダムの建設中止を発表してから2年間が経過し、ようやく本年9月13日、関係地方公共団体からなる検証の場において、同ダムの建設が洪水調整、新規利水、流水の正常な機能の維持等の総合的な再評価の結果として最も有利であることが国から示された。また、本年11月30日には、国土交通省関

東地方整備局が、利根川の複数の治水案のうち、コスト面などから同ダムを建設し利用する案を最良と評価し「継続が妥当と考えられる」との検証結果を出している。これを受け、前田国土交通大臣は、年内に事業継続の是非について最終的な判断を行う見通しとされている。

東京都は水道水源の約 8 割を利根川水系に依存しているが、利根川水系の水源施設は、全国の他の水系に比べて渇水に対する安全度が低いことに加え、近年の少雨化傾向等により、利根川水系の供給能力は、当初の計画と比較して、すでに約 2 割減少していることから同ダムを建設し、都民の水源を守ることは必要不可欠である。

また、今年度は東日本大震災、福島新潟豪雨、台風 12 号による豪雨などの自然災害により多くの被害が生じ、「想定外」という言葉では済まされない防災対策の重要性が再認識され、国の役割の中で最も重要なことは「災害から国民の生命財産を守る」ことであることを痛感した年でもあった。

100 年に 1 度、200 年に 1 度の災害にどのように対応するのか、今こそ防災対策のあり方が問われており、今できる対策は即座に実施するべきであり、首都圏を洪水と渇水から守る同ダムの建設事業を一刻も早く完成させることが喫緊の課題である。

よって、本区議会は国会及び政府に対し、これらのことに鑑み、下記事項の実現を強く求めるものである。

#### 記

- 1 ハッ場ダム建設が最も有利であることが明確に示された今、この検証結果を最大限尊重し、直ちにダム本体工事に着手するとともに、基本計画どおり平成 27 年度までに同ダム建設事業を完成すること
  - 2 地元住民の生活再建事業を早期に完成させること
- 以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。